

使用前にこの説明書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう保管してください。



お子さまの急な発熱に

# こどもパブロン坐薬

第2類医薬品  
〈解熱薬〉

- ◆こどもの病気は発熱から始まるといわれるほど、もっとも一般的な症状です。しかし、体力の消耗などをまねくおそれがあるので、熱を下げるのが大切です。
- ◆こどもパブロン坐薬は、お子さまの急な発熱を効果的に下げるお薬です。



## 使用上の注意

本剤は小児用ですが、解熱薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。



### してはいけないこと

必ず読むこと!

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

- 1 次の人は使用しないでください
  - (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を使用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 2 本剤を使用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください
  - 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

- 3 使用前後は飲酒しないでください
- 4 長期連用しないでください



### 相談すること

- 1 次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
  - (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
  - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3)高齢者及び虚弱者。
  - (4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (5)次の診断を受けた人。
    - 心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 2 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、下痢、軟便、便秘
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに右記の重篤な症状が起こることがあります。  
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	使用后すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症*	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害*	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎*	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

- 3 1回使用しても再度発熱した場合は使用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください



## 効能

### 小児の発熱時の一時的な解熱

#### こんな時の発熱に



夜の急な発熱



食欲がない時



吐きやすい時



薬がのめない時

## 用法・用量

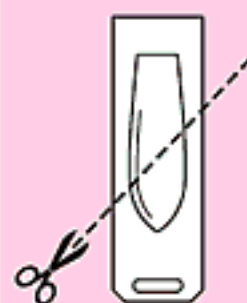
次の量を肛門内に挿入してください。

年齢	6～12才	3～5才	1～2才	1才未満
1回量	1～2個 	1個 	1/2～1個 	使用しないこと
使用回数	1日1回			

#### 【注意】

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に使用させる場合には、保護者の指導・監督のもとに使用させてください。
- (3)本剤は、2日続けて使用しないでください。
- (4)本剤は肛門にのみ使用し、内服しないでください。

#### 1/2個の作り方



上の図を目安にカッター・はさみ等でななめに切ります。

#### 坐薬の上手な使い方

坐薬は、なるべく排便を済ませてから使いましょう。



先のとがった方から開いてください。



膝の上に腹ばいにして、お尻の奥まで差しこみます。



体は温かくし頭を冷やして、しばらく様子を見てあげてください。

## 成分

1個(1g)中 アセトアミノフェン 100mg  
添加物：ハードファット

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4)右図のように坐薬の先を下に向けて外箱に入れ、外箱のマークに従って立てて保管してください。
- (5)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべくはやく使用してください。(品質保持のため)



この製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

**連絡先** 大正製薬株式会社 お客様119番室

**電話** 03-3985-1800

**受付時間** 8:30～21:00(土、日、祝日を除く)



製造販売元

**大正製薬株式会社**  
東京都豊島区高田3丁目24番1号  
<http://www.taisho.co.jp>



**アボットジャパン株式会社** 提携

## 副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
電話：0120-149-931(フリーダイヤル)